

各関係機関長 殿

岡山県病虫害防除所長
(公印省略)

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予報第8号を下記のとおり発表したので送付します。

平成29年度病虫害発生予報第8号

平成29年11月2日
岡山県

予報概評

作物名	病虫害名	発生時期	発生量
アブラナ科野菜	ハクサイ白斑病	—	やや少
	べと病	やや遅	やや少
	コナガ	—	並
	ハスモンヨトウ	—	やや少
	アブラムシ類	やや遅	少

(アブラナ科野菜)

(1) ハクサイ白斑病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 10月25日の県予察圃場(ハクサイ)の調査では、平年同様発生を認めなかった。

イ. 10月24、27日の巡回調査によると、発生圃場率は10.0%で平年(43.5%)より低かった。

ウ. 10月27日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か少ないとされており、発病を助長する条件ではない。

(2) べと病

予報内容

発生時期 やや遅

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 10月25日の県予察圃場(ハクサイ)の調査では、平年同様発生を認めなかった。

イ. 10月24、27日の巡回調査によると、ハクサイ、キャベツともに発生を認めず、発生圃場率は平年(ハクサイ19.3%、キャベツ14.9%)

) より低かった。

ウ. 10月27日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か少ないとされており、発病を助長する条件ではない。

(3) コナガ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 県予察圃場（赤磐市）のフェロモントラップにおける10月1～5半旬の誘殺数は23頭で平年（2.7頭）より多かった。

イ. 10月24、27日の巡回調査によると、発生圃場率はダイコンについては50.0%で平年（55.0%）並、ハクサイは12.5%で平年（8.3%）並、キャベツは0%で平年（8.8%）より低かった。

ウ. 10月27日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か少ないとされており、本虫の発生を特に助長する条件ではない。

(4) ハスモンヨトウ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 県予察圃場（赤磐市）のフェロモントラップにおける10月1～5半旬の誘殺数は1,091頭で平年（1,468.8頭）より少なかった。

イ. 10月24、27日の巡回調査によると、ダイコン、ハクサイ及びキャベツでは発生を認めず、発生量は平年よりやや少なかった。

ウ. 10月27日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か少ないとされており、本虫の発生を特に助長する条件ではない。

(5) アブラムシ類

予報内容

発生時期 やや遅

発生量 少

予報の根拠

ア. 県予察圃場（赤磐市）の黄色水盤における10月1～5半旬の飛来数は80頭で平年（210.4頭）より少なかった。

イ. 10月24、27日の巡回調査によると、ダイコン、ハクサイ及びキャベツではいずれも発生を認めず、発生圃場率は平年（ダイコン5.4%、ハクサイ3.4%、キャベツ0%）よりやや低かった。

ウ. 10月27日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か少ないとされており、本虫の発生を特に助長する条件ではない。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。

